

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成29年度第3回総会議案書

日 時：平成29年11月1日(水)9:00～
場 所：JA福島ビル9階93会議室

目 次

議案第 1 号 平成 3 0 年度「産地交付金」の取り扱いにかかる検討方向(案)

議案第 1 号

平成 30 年度「産地交付金」の取り扱いにかかる検討方向（案）

平成 29 年 11 月 1 日
福島県水田畑作課
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

（注）この考え方の前提は、現在の 30 年度概算要求の内容、および産地交付金の当初配分額が 29 年度と同程度とした場合であり、今後決定内容に変更があった場合は見直しとなる可能性があります。

1. 34 年産へ向けた情勢認識と取り組みの方向

（1）主食用米

- ・ 29 年産米価及び農業所得の維持・確保
- ・ このため需要に応じた米生産の継続・徹底
- ・ 業務用不足へのミスマッチへの対応（品種構成の転換）

（2）非主食用米（とりわけ飼料用米）

- ・ 需要はまだ伸びしろがあり、今後とも非主食用米は飼料用米主体で生産拡大
- ・ 多収品種への転換を継続して促進し、本作・定着化

（3）全水稻作付面積

- ・ 園芸作物等、水稻以外への作物への転換促進

34 年産へ向けた生産面積のイメージ

区分	項目	方向性	備考
主食用米		縮小	
非主食用米	飼料用米	多収品種	拡大
		一般品種	縮小
		全体	拡大
	備蓄米	やや拡大	
	加工用米	拡大	
	WCS	維持	
	その他	拡大	輸出用米拡大
計		拡大	
全水稻作付面積		縮小	他作物への転換等

議案第 1 号

2. 30年度産地交付金の取り扱いにかかる検討方向

(1) 基本的考え方

<主食用米>

- ・「生産数量（面積）の目安」にもとづき主食用米生産の削減をすすめる。
- ・主食用米＋非主食用米トータルで農業収入を確保する。

<非主食用米>

- ・飼料用米中心に需給調整を促進する。
 - 多収品種の面積・比率の拡大促進
 - 多収品種の大規模生産者への集約促進
- ・備蓄用米：29年産米面積以上の取り組みを目指す。
- ・加工用米・輸出用米：取り組みを拡大促進する。
- ・水稻以外への麦・大豆・園芸作物への転換を促進する。

<産地交付金の財源>

- ・以上を促進するため、従来枠の廃止と地域農業再生協議会の財源比率の向上を検討する。

(2) 具体的検討の方向性

単位：円 / 10a

取組	H29 当初 交付単価	財源の方向	備考
飼料用米助成（一般品種）	9,500	縮小	多収品種拡大、小規模生産者対応とセット
飼料用米大規模取組助成 （多収品種）	2,500	29年度の枠 組み継続	3ha 以上（中山間地域は 2ha）かつ取組面積の 1/2 以上の団地化が要件
加工用米助成	9,600	29年度の枠 組み継続	複数年契約が要件
酒造好適米助成	4,000	29年度の枠 組み継続	
飼料用トウモロコシ助成	4,000	29年度の枠 組み継続	

注1) なお、平成30年からは、全ての取組について「水田の収益力向上」に資する必要がある。

注2) 「転換作物拡大」、「コメの新市場開拓」及び「畑地化」の3つの国からの新規追加配分の用途等は、国の要綱等が定まり次第検討する。

3. 今後のすすめ方

- ・2.の「検討方向」にもとづき、年明けに向け具体的検討をすすめる。

議案第 1 号

参 考

2 9 年産米の取り組み状況

1 . 主食用米

- ・作付面積 2 8 年産対比 2 0 0 h a
- ・米価 2 8 年産対比 + 1 , 0 0 0 円 / 6 0 k g 程度上昇見込み

2 . 非主食用米

- ・作付面積 2 8 年産対比 + 4 0 0 h a
- ・飼料用米作付面積 2 8 年産対比 + 3 2 0 h a、多収品種面積 2 8 年産対比 + 6 5 6 h a (多収品種比率 + 1 0 %)
- ・飼料用米大規模加算対象面積 7 3 3 h a、全体の 1 3 %、2 h a 未満は 6 0 % 以上占める可能性

3 . 全水稻作付面積

- ・全体で 2 8 年対比 + 2 0 0 h a、浜通りで + 4 4 0 h a、他地域で減少

2 9 年産米の需給調整の取り組み状況等

年産		28年産米	29年産米				単位:ha
項目		実績 ①	計画 ②	9/15公表値 ③	計画対比 ④=③-②	28年対比 ⑤=③-①	
生産数量目標(当初)	A	61,980	61,313	61,313	0	▲ 667	
生産数量目標(県間・県内調整後)	B	60,122	59,653	59,562	▲ 91	▲ 560	
自主的取組参考値(当初)	C	61,313	61,146	61,146	0	▲ 167	
主食用作付面積	D	60,100	59,500	59,900	400	▲ 200	
「生産数量目標」との差	E	▲ 22	▲ 153	338	491	360	
「自主的取組参考値」との差	F	▲ 1,213	▲ 1,646	▲ 1,246	400	▲ 33	
非主食用米	G=SUM(①;⑤)	10,700	11,920	11,100	▲ 820	400	
	①飼料用米	5,520	6,420	5,839	▲ 581	319	
	うち多収品種面積	1,226	4,000	1,882	▲ 2,118	656	
	うち多収品種比率	22	62	32	▲ 30	10	
	②備蓄米	3,690	4,000	3,818	▲ 182	128	
	③加工用米	360	360	281	▲ 79	▲ 79	
	④WCS	1,100	1,100	1,122	22	22	
⑤その他	30	40	40	0	10		
全水稻作付面積	H	70,800	71,420	71,000	▲ 420	200	